

副将 日置 友明 郡上市
大将 箕浦 基雄 瑞穂市
交代要員 榎林 優 可児市

十月二十七日にJR名古屋駅に集合。新幹線で岡山駅へ。岡山駅より貸し切りバスで一日目の宿泊先、松山のホテルに午後六時頃に到着しました。

十月二十八日は、愛媛県総合運動公園陸上競技場での総合開会式に参加しました。総合開会式は、(1)式典前アトラクション、(2)式典、(3)メインアトラクションの三部構成で、それぞれに工夫があり、開催の熱い思いが伝わってくるものでした。式典は地元出身のテノール歌手、秋山雅文さんの国歌独唱から始まりました。午後二時頃に散会となり、選手はその後、おもてなしコーナーなどを見学した後、指定されたバスでホテルへ戻りました。参加チームすべての監督は別のバスで愛媛県武道館へ移動し、監督会議を行いました。ホテルに戻った時は夕方の6時頃になっていました。

十月二十九日、いよいよ大会の第一日目です。会場の愛媛県武道館は今年度の全国中学校剣道大会も開催されましたが、木材がふんだんに使用された大変威厳のある会場でした。開会式前にはアトラクションとして和太鼓の競演があり、大会の雰囲気盛り上げてもらいました。開会式後には、遠藤寛弘・門田睦志両教士八段による日本剣道形の演武がありました。毎回特別表彰として高齢参加選手の表彰がありますが、今回の最高齢者は高知県の八十三歳の方でした。

全国各地から六十七チームが参加し、一日目は十六ブロックに分けられた予選

リーグ、二日目は各ブロック一位チームによる決勝トーナメントです。

一試合目、岐阜県は秋田県との対戦でした。先鋒の松尾選手は皆の緊張がピクの中、鮮やかに面二本を奪取。大いに士気を高めてくれました。次鋒の中村選手は過去に全日本選手権の出場経験もある長身選手に小手を取。終盤に面を返され引き分けとなりましたが、見事な試合ぶりでした。中堅川村選手は序盤に面を取られましたが、粘り強く闘志あふれる試合展開の中、見事に小手を取り返し引き分け。一〇とリードして副将日置選手となりました。その重圧は大変かと思いましたが臆することなく、積極的な攻めで中盤に面を取。そのまま時間切れとなりチームとしての勝利が確定しました。大将箕浦選手は落ち着いた試合展開の中、惜しい打突が何本もありました。結果は二一〇で本県の勝ちとなりました。

二試合目は奈良県との対戦でした。直接対戦の無い同一リーグの香川県は、本県が対戦する前に奈良県との対戦を終えており、そのスコアは四一〇で勝利してしまいました。それを見届けてからの試合となりました。先鋒松尾選手の相手は女性の方でした。間合いや技を出すポイントなどやりにくさはありましたが、一試合目同様、積極的な試合展開で面と小手を連取して、チームに弾みを付けました。次鋒中村選手も積極的に攻め続けるも引き分け。中堅川村選手は中盤に面を取りましたが、終盤に面を取り返されました。その後も勇敢に攻め続け旗が上がっても良いような打突もありましたが惜し

くも引き分けとなりました。副将日置選手は相手選手欠場の為不戦勝ち。大将箕浦選手は小手を取、その後も、もう一本を重ねるべく積極的に攻め続けましたが、そのまま時間切れ。一本勝ちとなり、三一〇のスコアでの勝ちとなりました。

決勝トーナメント進出は、香川県・秋田県戦に委ねられました。香川県は二勝以上の勝利で本県を上回ります。先鋒は香川県が勝利。しかし秋田県も奮起して次鋒・中堅戦を取り返しました。副将戦は香川県が勝ち、いよいよ大将戦となりました。先取したのは秋田県でした。その後香川も必死に取り返し、手に汗握る攻防が続きました。が、時間切れで引き分け。両県は本数も同数で試合は引き分けということになりました。結果岐阜県は二勝、香川県は一勝で、我がチームの決勝トーナメント進出が決定しました。薄水を踏む思いでしたが選手皆さんの前向きな姿勢がもたらした結果だと思えます。

翌日はいよいよ決勝トーナメントとなりました。対戦相手は優勝候補筆頭の愛媛県Aチームです。組み合わせが発表された時から「ぜひ愛媛県Aチームとやりましょう。そして何とか一泡吹かせましょう。」が合言葉でした。そしてその念願の試合が始まりました。先鋒松尾選手は数十秒の練り合いの後、思い切りのよい面を放ちました。皆「よし。」と思いましたが、残念ながら旗は上がりませんでした。中盤同じような面がありましたがこれも上がらず。終盤に思い切った面に行ったところを返されて胴の一本負けとなりました。次鋒中村選手は粘りま

したが二本負け。あとが無くなった中堅川村選手は闘志を前面に奮闘、惜しい技が何本かありましたが引き分け。副将日置選手、大将箕浦選手とも善戦しましたがともに二本負けとなり〇―四で敗退という結果になりました。スコアは〇―四でしたが内容的にはもう少し接近していたような気がします。再来年の本県開催に向け貴重な経験を積ませてもらえました。なお、愛媛県Aチームは準決勝まですべて四一〇。決勝は三一〇と見事な戦いぶりで優勝しました。

昨年の大会から交代選手が入っています。今年度は榎林選手でした。榎林選手は大会前の強化練習から本大会中の練習まで誰よりも真剣に取り組まれ、何時でも出られる態勢を整えられて見えました。更に選手の心の支えともなり、監督の抜け落ちた配慮不足を常に補っていたいただきました。本場にありがとうございました。試合終了後、本部席横で、愛媛県剣道連盟俊野徹人会長よりメダルを授与していただきました。その際、大会運営資料提供へのお礼と、再来年開催への心暖かい激励のお言葉をいただきました。

選手は今大会で得た経験を迫っている岐阜県大会に活かすべく、思いを新たに松山の地を後にしました。

最後に、関市総合体育館での強化練習会にご参加、ご指導いただきました多くの皆様方に心より感謝申し上げます。

なお、関市での練習会は令和七年度、岐阜県大会終了まで継続の予定です。

この紙面をお借りしまして、今後とも練習会へのご参加、ご指導の程、重ねまして宜しく申し上げます。